

事務事業チェックシート

事務事業No 313 事業名 老人クラブ連合会補助事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	1	高齢者の生活の充実
基本方針	2	高齢者の社会参加と生きがいの推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	高齢者・地域福祉課	佐々木 忍	435-1063
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		老人福祉費	
	大事業		老人福祉事業	
事項		老人クラブ連合会補助事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容				
事業概要	単位老人クラブでは過重である事業を老人クラブ連合会で行い、高齢者の生活意欲の向上を促進する。	様々な事業を定期的に行い、その経費について、和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付する。				
	実施内容	平成25年度 和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付。様々な事業を定期的に関係し連合会会員の親睦及び健康づくりを図り、いきがいを高める。	平成26年度 和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付。様々な事業を定期的に関係し連合会会員の親睦及び健康づくりを図り、いきがいを高める。	平成27年度 和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付。様々な事業を定期的に関係し連合会会員の親睦及び健康づくりを図り、いきがいを高める。	平成28年度 和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付。様々な事業を定期的に関係し連合会会員の親睦及び健康づくりを図り、いきがいを高める。	平成29年度 和歌山市老人クラブ連合会からの申請に基づき、補助金を交付。様々な事業を定期的に関係し連合会会員の親睦及び健康づくりを図り、いきがいを高める。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	3,377	3,194	3,363	3,157	3,335		3,335		3,335	
伸び率 (%)	-	-	-0.4%		-0.8%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,360	651	651	653	655		655		655
	非常勤職員									
	小計	1,360	651	651	653	655		655		655
国庫支出金	1,125	1,125	1,121	1,120	1,111		1,111		1,111	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	2,252	2,069	2,242	2,037	2,224		2,224		2,224	
所要人数	常勤職員	0.18	0.09	0.09	0.09	0.09		0.09		0.09
	非常勤職員									
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 3,335千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	支給団体数					年度目標値	1	1	1	1
						実績値	1	1		
	単位	連合会	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%			
							年度目標値			
						実績値				
						年度別達成度				
成果指標	イベント開催数					年度目標値	12	11		
						実績値	12	11		
	単位	数	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%			
							年度目標値			
						実績値				
						年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市老人クラブ連合会は、スポーツ大会や芸能大会、奉仕活動等さまざまな活動を定期的で開催して会員の交流や健康の増進を図っており、高齢者の生活の充実に寄与している。このため本事業を継続し、今後も高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に貢献していく必要がある。
「見直し」 「改善」案	